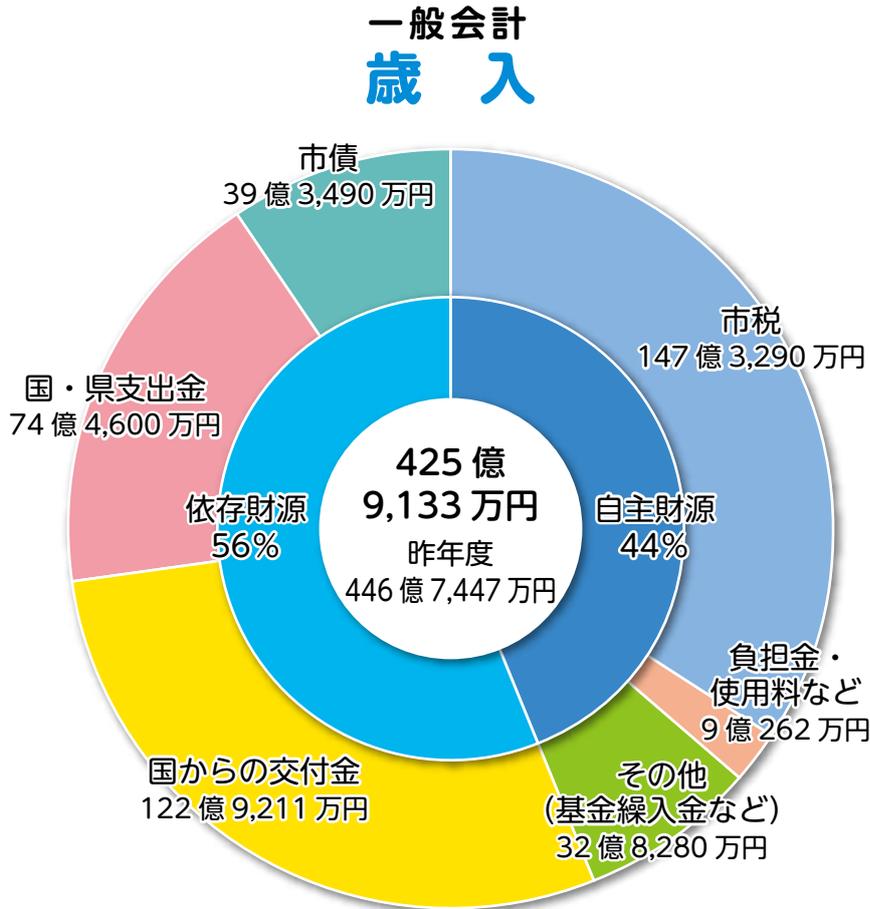


令和2年度 当初予算

市税を主な収入源として、教育や福祉、土木など基本的な行政サービスを行うための一般会計、国民健康保険事業などの6つの特別会計、病院・水道・下水道事業を行う企業会計、島ヶ原・大山田財産区特別会計の予算額についてお知らせします。



※自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源
 ※依存財源…国や県からもらう交付金など

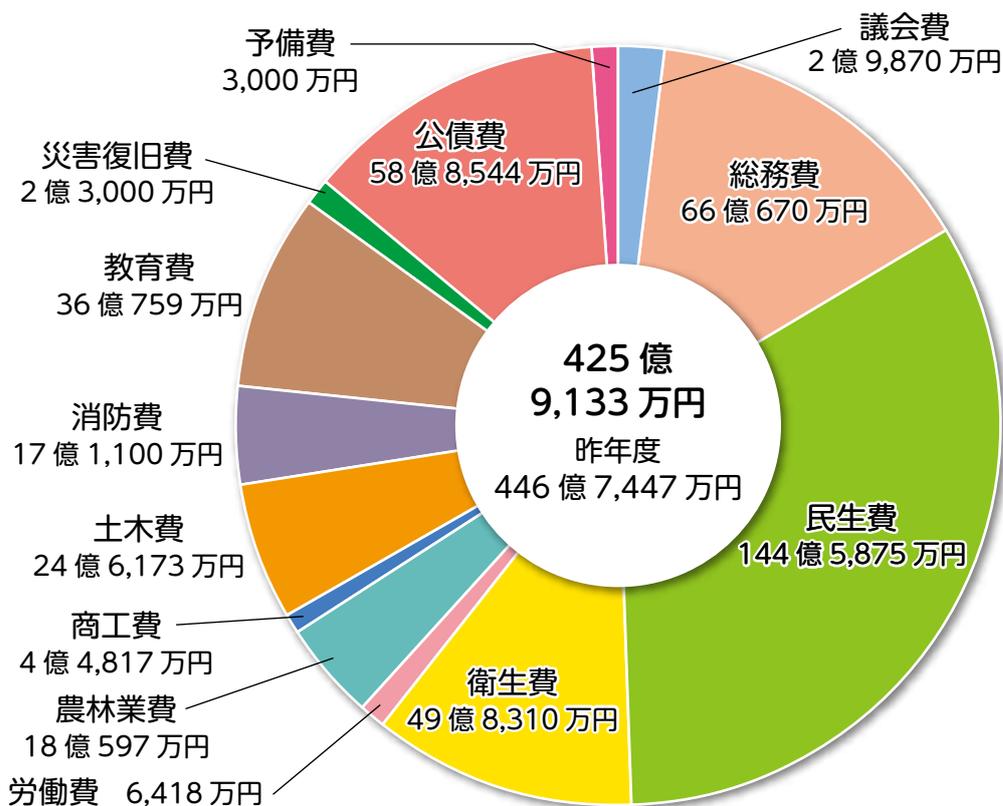
▶ 会計別内訳

会計名		予算額	伸率(%)
一般会計		425億9,133万円	△ 4.7
特別会計	国民健康保険事業	94億2,970万円	△ 4.0
	(事業勘定)	93億3,064万円	△ 4.0
	(直営診療)	9,906万円	△ 0.6
	住宅新築資金等貸付	602万円	△ 21.1
	駐車場事業	5,540万円	10.6
	介護保険事業	108億1,151万円	0.3
	サービスエリア	992万円	△ 2.2
	後期高齢者医療	12億9,500万円	5.7
	小計	216億755万円	△ 1.3

会計名		予算額	伸率(%)
企業会計	病院事業	52億7,245万円	△ 0.4
	水道事業	52億2,755万円	△ 2.9
	下水道事業	36億7,104万円	△ 17.0
	小計	141億7,104万円	△ 6.1
財産区特別会計	島ヶ原財産区	3,017万円	9.0
	大山田財産区	1,930万円	53.5
	小計	4,947万円	22.9
合計	784億1,939万円	△ 4.0	

※予算書は通常千円単位で表すため、端数処理の関係で予算額と一致しないことがあります。

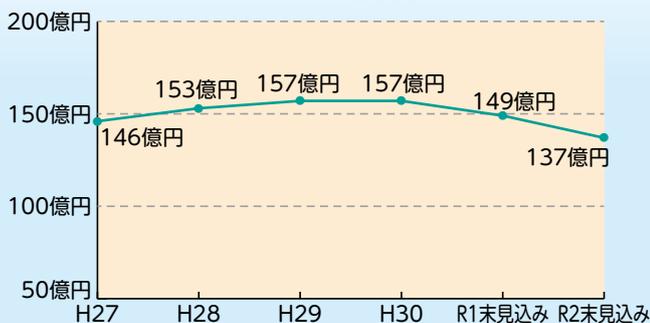
一般会計 歳出(目的別)



今年度の予算は「みんなが活躍する ぎずな・活力・創造予算」とし、市民の皆さん同士や地域などの「ぎずな」を強くし、安全・安心で元氣や活力あるまちづくりを目標として編成しました。

一般会計では、小学校給食センターなどの大型事業の完成などにより昨年度と比較して20億8,331万4千円の減額となっています。

基金残高



基金(市の貯金)
財政調整基金や伊賀市ふるさと応援基金などへ約6億円を積み立てますが、財源不足を補うため約18億円を取り崩す予定です。

令和2年度末の基金残高予定額は、令和元年度に比べ約12億円減の約137億円で、市民一人あたり約15万円となる見込みです。

市債残高



市債(市の借金)
約39億3千万円の借入に対して、返済する額が約55億5千万円の予定です。

令和2年度末の市債残高予定額は、令和元年度に比べ約16億円減の約543億円で、市民一人あたり約60万円となる見込みです。



【問い合わせ】

財政課

22-9608
FAX 24-2440

zaisei@city.iga.lg.jp